

目標

ビジネスクリティカルデータセンターの確実なプロアクティブサポートと、将来のテクノロジーロードマップ策定を支援

アプローチ

サードパーティのサポートプロバイダーに何年も依存してきたNorrbottensは、今後の選択肢について長期的なストレージおよびサーバーのサプライヤーであるHPEと協議

ITの成果

- プロアクティブおよびリアクティブなサポートにより、2つのデータセンターで100%の稼働時間を保証
- 容量を事前にプロビジョニングし、急に必要になった追加容量をすぐに提供できる柔軟性を確保
- お客様とHPE製品開発チームとの緊密な連携により、将来的なIT戦略の計画を支援

ビジネスの成果

- 病院のサービスのさらなる一元化を推進し、モバイルでの作業効率を向上させ、運用コストを削減しつつ、医療面でのより優れた成果を実現
- 単一サプライヤーと窓口一本化により、IT資産全体の総所有コストの削減および発展計画の実現

完璧なデータアクセスに 支えられる Norrbottens の医療提供

HPEデータセンターケアフレキシブルキャパシティにより、ストレージ不足の問題を払拭



Norrbottens Läns Landsting はスウェーデンの医療機関です。データサービスの一元化に伴い、ストレージおよびサーバー資産の効率性が重要性を増しています。それは生命にも関わる問題です。HPE データセンターケアフレキシブルキャパシティは、プロアクティブなサポートを提供し、ストレージのヘッドルームを確保することで、組織の持続的な運用を支えます。

課題

過酷な環境での医療提供

Norrbottens Läns Landsting は、スウェーデンの公的医療機関です。スウェーデン北部の広大な地域を管轄としますが、この地域は国の約1/4を占めるにもかかわらず、全人口のわずか3%しか居住していません。この地域はさらに14の小区域に分かれており、ほとんどの居住区は海岸沿いにあります。

効率的な医療サービスの提供には、いくつかの課題があります。まず、遠く離れた集落がいくつも存在すること。人口が高齢化していること。そして、冬の厳しい気候が外出を困難にしていることです。スウェーデンの他のすべての公的機関と同様、Norrbottens も限られた予算の中、サービスへの大きな期待へも応えなければなりません。

「私たちの業務、および市民の健康にとって、ストレージは重要な役割を持ちます。私たちは99.99%や99.999%の話をしているのではなく、100%のアップタイムについて話をしています。HPEが傍にいてくれるお陰で、ストレージ容量が不足することはないと確信が持てるので、夜も安心して眠れます」

- Norrbottens Läns Landsting、IT運用マネージャー、Stefan Lundström氏

Norrbottens は現在、5つの病院と35の医療機関、さらに多数の救急輸送機を運営しています。Norrbottensはサービスの一元化を図り、病院数を縮小してきました。状況が許す限り、医療相談に電話や電子メールで対応する件数を増やしています。

「建物の名称として病院と呼ぶか、診療所と呼ぶか、それは問題ではありません。緊急時に必要となるのは医療専門家なのです。」Norrbottens Läns LandstingのIT運用マネージャーであるStefan Lundström氏はこのように述べます。「それこそが、私たちの最大の課題です。必要なとき、必要な場所でいつでも医療専門家を利用できるようにすることです。」

ビデオ会議も解決策の1つでした。Norrbottensは、地方の診療所の医師を5つの病院の専門家とネットワークでつないでいます。これには、患者データの一元的な保管施設とファイルを迅速に、かつ確実に共有するためのネットワーク耐障害性とが必要になります。

「私たちは10年前、ITを一元化することを決意しました。」Lundström氏は振り返ります。「その処理能力が確保できると同時に早速この作業に取り掛かりました。私たちの戦略は主に、技術的に何が可能かに重点を置くものです。そして、予算的にはどこまで可能かを検討します。」

Norrbottensの集中IT部門は、Sunderbynに新設された病院内に設置されています。この病院は、この地域の2大都市から等距離にあります。SunderbynはNorrbottensの2つのデータセンターの拠点となっており、他の病院にはそれぞれ、数台のローカルサーバーが設置されています。すべての患者記録、すべての画像アーカイブは、IPテレフォニースイッチとともにSunderbynで管理されています。Sunderbynの各データセンターを円滑に運用することは、Norrbottensの医療サービスの円滑な実施に不可欠です。

HPEは、Norrbottens Läns Landsting全体にストレージとサーバーを供給しています。「私たちはHPE専門店のようなものです。」Lundström氏は説明します。「製品を熟知しているなら、その1社だけに絞ったほうが簡単です。しかも、サプライヤーの数が多くなればそれだけ、購入や保守にかかる費用も大きくなります。私たちはHPEを信頼しているのです。」



ソリューション

いつでも使用可能なストレージ

Lundström氏は、HPE に対する信頼感には2つの根拠があると言います。1つは HPE 製品ポートフォリオの広範さであり、もう1つは、Norrbottens が現在直面している具体的な問題について HPE が理解していることです。

HPE は現在、HPE データセンターを介して Norrbottens の IT 資産を総合的にサポートしています。HPE のグローバルな専門技術を活かし、プロアクティブおよびリアクティブなサポートを提供します。

「これまで、私たちはサポートをサードパーティに外注してきましたが、そのせいで、ファームウェアの更新においては数年間の遅れを取ってしまいました。IT は組織の運営に非常に重要なので、これまでは、重要なメンテナンスのためであってもシステムを停止したことがありませんでした。システムを止めるというリスクを冒せなかったのです。」Lundström氏はこのように述べます。「いつでも使用できる、追加の容量が必要でした。」

この課題は HPE データセンターケアフレキシブルキャパシティですでに解決されています。これは、Norrbottens が直面していた具体的な問題を HPE が理解していた成果に他なりません。

「たとえば、画像アーカイブシステムは特に大きな懸念でした。保管およびバックアップに要するスペースは、毎年 25% の勢いで拡大しているのです。この問題を HPE が理解してくれたからこそ、HPE データセンターケアフレキシブルキャパシティについて協議するに至ったのです。」

フレキシブルキャパシティを活用することで、Norrbottens は必要なときにいつでも、分単位で追加容量をプロビジョニングできるようになりました。従量制課金であるため、新たな設備投資を引き出すのではなく、Norrbottens の運用予算内で実現できます。この結果、予測可能な価格とサービスの一貫性を享受できるようになりました。

メリット

従量制、テクノロジーに関するビジョン

「個人的には、ストレージ容量が不足することはないという確信を持つことで、夜も安心して眠れます。」Lundström氏はこう語ります。「ストレージ容量が不足しそうになったら、必要な分だけ容量を追加すればいいのです。毎月の支払額に、ごく少額が加算されるだけです。」

「ストレージは私たちの業務にとって非常に重要です。99.99% や 99.999% の話をしているのではなく、100% のアップタイムの話をしています。」

ここにも2つの利点があります。まず、Norrbottens は何年も先の容量を事前に計画する必要がなくなり、極端な過大評価または過小評価のリスクを負う必要もなくなります。もう1つは、安売りされた、土壇場で見つけた代替品に心を動かされにくくなるということです。「これまでは結局、安いだけのストレージソリューションに決めてしまいがちでした。」Lundström氏は苦笑します。「そして、後悔するはめに。」

Norrbottens が現在保有するサーバー数は500台以上ですが、Lundström氏によると、この数は常に流動的だということです。「今年もすでに、これまでに15%台数を増やしています。新機能の公開に伴うアップグレードが主な理由です。」

企業概要

HPEサービス

- HPEデータセンターケア
フレキシブルキャパシティ

「画像アーカイブシステムは特に大きな懸念でした。保管およびバックアップに要するスペースは、毎年25%の勢いで拡大しているのです。この問題をHPEが理解してくれたからこそ、HPEデータセンターケアフレキシブルキャパシティについて協議するに至ったのです」

- Norrbottnens Läns Landsting、IT運用マネージャー、Stefan Lundström氏

このようなアップグレードの多くも、信頼を置くHPEの助言に基づいて行われました。「すべてのファームウェア更新をインストールしたわけではありません。」Lundström氏は説明します。「HPEが私たちに、次のバージョンまで待つように、といった助言をくれるのです。アップグレードはそのつど時間がかかるものです。タイミングによっては、時間をむだにしたくない場合もあります。まるで、HPEの業界専門知識を共有しているような感覚です。」

また、担当のアカウントチームを介し、NorrbottnensはHPE製品ロードマップに関する洞察力を得ることができます。つまり、持続的な向上を図るための、パーソナライズされたサポート、洞察、および助言を享受できるのです。HPEデータセンターケアにより、Norrbottnensは実績のあるサプライヤーから技術的アップグレードを保証されているという安心感を得ることになります。「ITのビジョンを持つことは重要です。」Lundström氏は述べます。

「こうしたビジョンは、私たちの戦略を表すものです。ハードウェアからソフトウェアに至るまで、ネットワーク戦略をはじめ、モビリティやデータセンターに関する戦略など、多岐に渡ります。もちろん、こうしたこともHPEと話し合います。私たちは、ユーザーの一步先を行かなければなりません。HPEは、その一步を常に導いてくれる頼もしい存在です。」